



☆ 水稻中干し特報

平成28年6月17日
松任市農業協同組合
白山石川宮農推進協議会

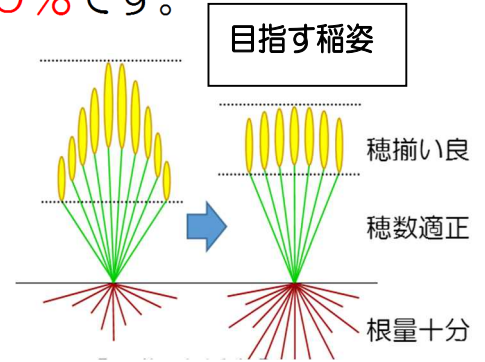
緊急

中干しは遅れない!!!

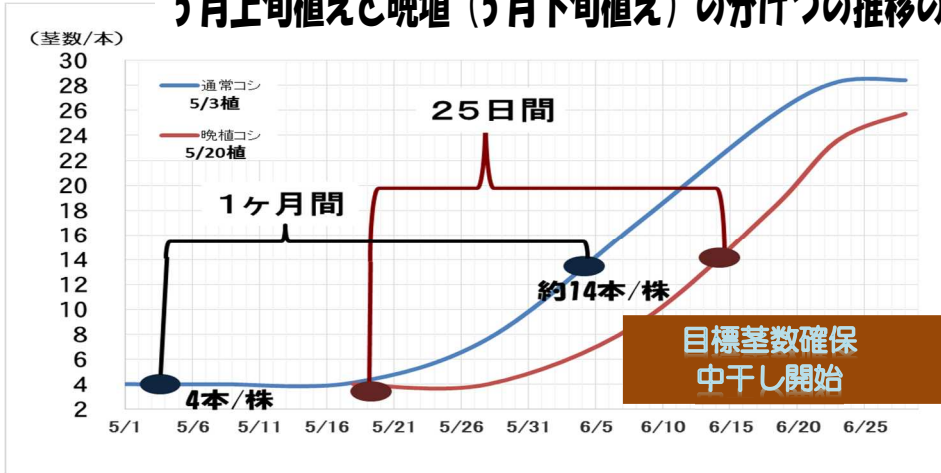
＜予想される向こう1か月の天候＞新潟地方气象台（6月2日発表）
向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。
降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。
日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

（適期中干し開始により）

- 穂揃い良好で粒が揃い品質アップ
- 適正穂数で登熟歩合アップ
- 根の伸長確保で収量アップ



5月上旬植えと晩植（5月下旬植え）の分けつの推移の比較（60株）



晩植は1ヶ月経たなくても中干し開始が必要です。

(※試験場近年5カ年の平均)

5月上旬田植えでは、田植後1ヶ月で目標茎数の7割に達するところ、晩植は気温が高いため、通常の約1.2倍速く増加し、25日ほどで中干し時期に到達します。

今年は生育スピードも速いため、1ヶ月を経たずに中干し期間に入ります。晩植栽培では、より注意して、遅れず中干しを行いましょ。

気候に左右されず理想的な稲に仕上げるゾ!!

濁水対策

水田への入水にあたっては、土砂の流入・拡散を軽減するため以下に留意願います。
・降雨日やその翌日など、用水の濁りが強いときは本田への入水を控えましょう。



☆カメムシ注意報

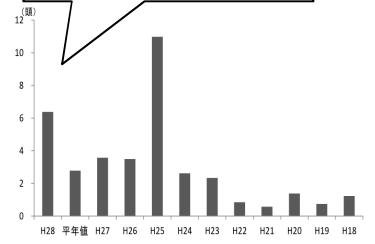


多発 生息地を減らそう！！

斑点米カメムシ類多発注意報

◎県全体 病害虫発生予察情報（6月16日県農林総合センター）
雑草地における斑点米カメムシの発生は、すくい取り調査による成虫数が6.4頭（平年値：2.8頭）で平年の2.3倍と多い。特に、飛翔性のカメムシ類が平年の2.6倍と多く、今後の増殖・活動が活発になると推測されます。

過去2番目に多い



白山・野々市地区におけるカメムシ生息密度調査結果 (6月16日調査：曇り)

地区名	25回すくい取り虫数					合計	主な雑草 ()内開花結実時
	アサジカスミカメ		アカヒゲホリドリ カスミカメ		トゲシラホシ カメムシ 成・幼虫		
	成虫	幼虫	成虫	幼虫			
白山市旭	3		20	31		54	オオスズメカビラ(5月)
白山市倉光	13	1	13			27	ナギナタガヤ(5月)
白山市上柏野	21		29	41		91	ナギナタガヤ(5月) オオスズメカビラ(5月)
白山市笠間	2		7	29		38	ナキナタガヤ(5月)
野々市市末松						0	シロツメグサ(5月)
白山市蝶屋			5	1		6	スズメカビラ(3・4月) ナギナタガヤ(5月)
白山市明島	1		4	1		6	ナギナタガヤ(5月)
平均	5.7	0.1	11.1	14.7		31.7	

県下全域に注意報が出され、管内で調査を行った結果、雑草地において管内平均31.7頭と多く捕獲されました。

特にカメムシのエサとなり得る開花結実したイネ科雑草で最大91頭と多く捕獲されています。

イネ科雑草で開花結実後、黄化して一見枯れているように見えても、斑点米カメムシ類は生息しており多く捕獲されました。

イネ科雑草にカメムシが多い



ナギナタガヤ (イネ科雑草)

「6月頃の除草＋7月上旬の仕上げ除草」の徹底！！
イネ科雑草を中心に除草し、斑点米カメムシ類の生息数を低減しよう！！